

◇ 令和4年度「探究成果発表会」(総合的な探究の時間 “ 為桜タイム ”)

日時 ○ 令和5年 2月22日(木)

＜2学年の部＞ 8:40～13:25 (探究テーマ:フリーテーマ)

＜1学年の部＞ 13:35～15:35 (探究テーマ:SDGs)

参加者 2年生・1年生 全生徒

場 所 第一体育館

講 師 大川 一也 准教授 (千葉大学工学部 工学博士)

保戸山 正浩 課長 (下妻市役所 市長公室企画課)

鯨井 真弓 主事 (下妻市役所 市長公室企画課)

👉 1年間の「総合的な探究の時間」の総仕上げであるポスターセッションが、令和5年度2月22日(木)に本校第一体育館で実施されました。

*

*

*

アドバイザーとしてお招きしたのは、まずは千葉大学工学部准教授の大川一也先生(本校卒業生)です。機械工学科・大学院工学研究科で人工システム科学を専攻し、「自律移動ロボット」や「システムの知能化」の研究に取り組んでおられる方です。大川先生は学部内でも大人気であり、先生のゼミは希望する学生が多すぎて、たいへんな「狭き門」になっているそうです。

また、先生は本校在籍時には昭和 63 年度後期生徒会長を務められるなど、頼れる先輩としての顔もお持ちです。今年度は既に9月22日(木)の探究授業視察や、12月1日(木)の1・2年生対象の「SDGs講演会」でもご来校いただき、探究活動の手ほどきをしてくださっていますので、生徒諸君にも既にお馴染みです。

*

*

*

そして、下妻市役所の市長公室企画課からは、保戸山正浩課長と鯨井真弓主事が来てくださいました。本校は下妻市が創設した「下妻市SDGsパートナー制度」に応募し、「下妻市SDGsパートナー登録証」をいただいています。本校の探究活動では、1年生が「SDGs」からテーマ設定をすることになっており、その際にぜひ下妻市からもご指導・ご助言をいただきたいということでお越しいただきました。地域社会との連携・協力のもとでSDGsについて考え、行動できる人材を育成するための手助けをしていただきます。

＜ポスターセッションの概要＞

① 「ワンポイントレッスン ～効果的なポスター発表方法～」

◇ まずは千葉大学大川先生から、プレゼンテーションのやり方について手ほどきをいただきます。

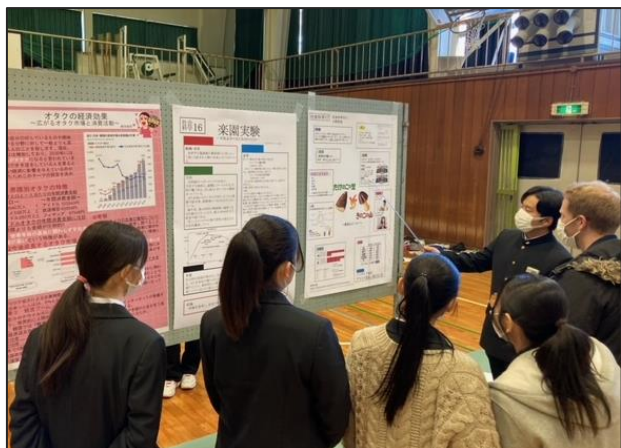
② 「グループポスターセッション」 (8分×6)

◇ 同じ掲示板を共有するいくつかのポスターでグループを構成し、グループ内で順に発表・聴講する。

③ 「フリーポスターセッション」 (10分×3)

◇ 生徒個々の興味・関心に応じて、聴講するポスター発表を自由に選択する。質疑応答の時間も設ける。

<2年生>



大川先生からも講評をいただいています。



<1年生>



1年生のセッションには、附属中学校の生徒も加わって参観しました。

フリーセッションでギャラリーが少なかった場合は、発表者が呼び込みを行って聴衆を集めました。



<発表テーマ 例>

◇ 1年（SDGs）

海上事故で流された油は再利用できるのか
結局何発電がエコなの？ ～これからの電気～
子どもの大切さ ～地域ごとの子どもの立場～
なぜランドセルは重いのか？ ～世界と比べた日本の IT 活用～
何のために生まれて何をして生きるのか ～飢餓について～

◇ 2年（自由テーマ）

何故日本人は米を選んだのか ～穀物の覇権争い～
黄金比 白銀比 青銅比 ～身の回りに使われている比～
時速何 km で走ってる？ ～アニメキャラの走る速度と体への負荷～
薬は使い続けると効かなくなるという認識が広まったのはなぜか？ ～正しい認識で安全に服用するために～
ブーメランのような変化球は投げられるのか？
法的観点から考える「どこでもドア」の実現

など…

👉 今回の貴重な経験をもとに、2年生は自分自身の「進路探究」をさらに深め、また1年生は今回の成果と反省を糧として次年度の新たな探究活動へと向かいます。

*

*

*

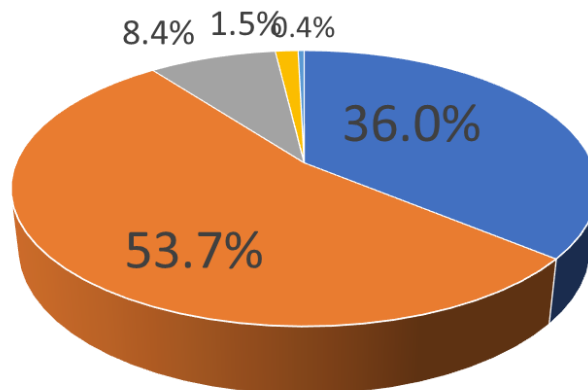
言うまでもないことですが、「探究」の軸は「PDCA サイクル」(Plan ⇒ Do ⇒ Check ⇒ Action)。試行錯誤を繰り返しながら無限に続くサイクルです。「まずはやってみること、そこで生じた課題を次の実践につなげればよい」という姿勢に終わりはありませんし、今後の生徒たちのキャリア形成にとっても有効な武器となるはずです。

そして、ご多用のなかご協力いただいた大川先生、保戸山さん、鯨井さんに対して心からの御礼を申し上げます。ありがとうございました。

＜生徒へのアンケートから＞

○設問1 「今回の事業への参加は、あなたにとって意義がありましたか。」

- ・大いに意義があった … 36.0%
- ・意義があった … 53.7%
- ・どちらともいえない … 8.4%
- ・あまり意義を見出せなかった … 1.5%
- ・意義を見出せなかった … 0.4%



○設問2 「探究発表会のポスターセッションを経験して、あなた自身が学んだことは何ですか。」

- ・体育館などで同時に発表するときは、思っているよりも大きな声を出さないと聞こえないということが分かりました。また、SDGs をテーマとした問題は簡単に答えを出すことはできないということを感じました。
- ・人の興味を引きつけるにはまずポスターやテーマなどの第 1 印象が大事だということ。そして発表をする際には聞き手のことを考えた話し方をすると聞きやすいこと。
- ・頭が真っ白になっても発表しなくてはならないこと。
- ・仲間と協力して情報を集め、案を出し合うことの大切さ。
- ・グループのみんなと協力して、ただ調べるだけでなく考察から学んだことまで全て考えていかなければならない難しさを学んだ。
- ・ポスターの見やすくするための構成・レイアウトの工夫。課題を解決する為にどのような方法を使えばよいか。
- ・発表すること、自分で調べることの楽しさを学んだ。
- ・地球の環境について深く知り、より一層 SDGs に貢献したいと思った。
- ・効率、費用、それに伴う環境破壊など、エネルギーを生むにあたってどこを重要視すれば良いのかを考えることができ、学ぶことができた。
- ・同じ SDGs のテーマでも、調べる方向によって全然違う内容になること。
- ・調べたことの要点をまとめて発表することの難しさや、グループ内で助け合いができるありがたさを学べた。
- ・数字や具体的なグラフがあった方が説得力が増すことを学んだ。
- ・友達と共に作り上げる過程での意見交換での苦労を知ることが出来た
- ・チームワーク
- ・意外とみんなに発表を聞いてもらうのが楽しいということ

- ・一つのことからさまざまな知識を得ることができることがわかった。また、プレゼンをすることには表現力が大事なんだと思った。
- ・たとえ自信がなくても、楽しそうに堂々と話すと、聞き手の興味を引き付けやすい。
- ・他の人は探究のテーマからそのテーマを探究していく過程まで、自分とは違った視点からアプローチしており、こういう見方や考え方もあったのかと、今まで考えられていなかった新しい視点を学ぶことができました。
- ・好きなことを究極まで知り尽くすことは自信を生み出すということ。

○設問3（2年生へ）

「今年度の経験を、今後の進路選択や自身の将来にどのように生かしたいですか。」

- ・探究活動の面白さを知ることができたので、これから同じような活動がある時に生かしていきたい。
- ・大学では、調べたいことをとことん調べる姿勢を維持していきたい。社会人になった場合、プレゼンの場などで活かしていきたい。
- ・自分で考える力 それを表現する力。
- ・自分の進路に関わるテーマで探求したので、それをもとに将来の目標について考えていきたい。
- ・複数人でひとつのものを作り上げるという事はこれから先あると思うので自分が率先して意見を言い、まとめあげていきたい。
- ・海外のことについて調べて日本とは異なった価値観や見方を学んだ。このことを生かして様々な観点から物事を考えるようにしたい。国際系や語学系の学部に行きたいのでその時に役立てる。
- ・生活する中で人とのコミュニケーションはどんな時でも必要だから相手を考える時や言葉を選ぶ時、自分の言葉を考えながら生かすようにしたい。
- ・プレゼンなどで、緊張している時や、自信がない時に、今回の経験を思い出して、堂々とした態度で自分の考えを積極的に伝えていきたい。
- ・探究で調べたことをもとに、進路や将来の夢について深く考え、どのような人材が求められているのかや、どのようなことが必要になってくるのかについて熟考して生かして生きたいと思います。
- ・調べた分野を進路選択の1つとして加え、自身の将来について考えを深めたい。
- ・“この探究が良かった”と最後に言えるように自ら学習面での成長を求めていく。

○設問4（1年生へ）

「今年度の経験を、次年度の探究活動にどのように生かしていきたいですか。」

- ・発表の仕方を工夫すること。図やグラフを効果的に使い、論理的な文で分かりやすく伝えること。
- ・今年度学んだポスターのまとめ方やみんなの発表を聞いて学んだ話し方などを応用して次年度に生かしたいです。
- ・1人でやる探究活動は、きちんと計画を立ててやることが大切で、グループでやる探究活動は、協力す

ることが大切だと思ったので、来年もそのことを意識して頑張りたい。

- もっと、自分を知っていった、自分の気になることについて調べたいと思います。
- あまりグループでの活動が円滑に進まなかったので、もっと意見を出し合ってさらに良い探究活動ができるように改善していきたい。
- 発表を聞いた人に自分でも調べてみたい、もっと知りたいと思ってもらえるような発表を出来るように、今年の探究を生かしていきたい。
- テーマを決めるための相談に時間を取られすぎたので、予め時間配分や最終的にどんなまとめにするのかを考えるようにする。
- 今年はどのようにしたら良いかわからないこともあったけど、実際にやってみてやり方がわかったから来年は今年よりもいい探究をできるようにしたい。
- SDGs についていくつか疑問が湧いたのでそれについてもっと詳しく学んでいきたい。
- 調べたことの取捨選択をしっかりとしたい。
- 発表直前は切羽詰まって忙しくなったので、次回は余裕をもって準備を進められるようにしたい。
- 自分でひとつのものを掘り下げ、問題を見つけながら、解決策を考える力が身についたと思うので、来年も別の探究テーマでも役立てたい。

